

第4回 通常総会より

彩の国バリアフリー協会は、埼玉県と（社）埼玉県建築士事務所協会の共催による、彩の国バリアフリー建築カレッジ（現在名称は彩の国ユニバーサル建築カレッジ）の卒業生を中心に結成され、高齢者や障害者を含め誰もが快適に暮らせるまちづくり。その実現に役立つ人材の育成を目指し、活動を始めて4年が経過し、皆様の多大なる御理解と御協力を得て5年目に入ることができました。

現在、正会員109名、賛助会員8名、合計117名と会員数も徐々に増えてまいりました。そして、本年6月5日に第4回通常総会が開催され、昨年度の事業報告・収支決算報告、本年度の事業計画・収支予算案、及び会則改正、役員改正が承認され、また新たなスタートをきることができました。

会則改正では、会員による組織において、現行のバリアフリーカレッジ修了者という条件を除き、この会の目的に賛同する者と改正し、バリアフリーカレッジ修了者だけにとどまらず、多くの方の意見や問い合わせに応じ、会の活性化と広い視野、さらには他業界とのつながり等をふまえ、埼玉県全体の地域にそれぞれ活動範囲を広げることを考えての改正です。

又、本年度より学生の参加も加えて、より幅広い賛同者の参加を促していきたいと考えます。又、昨年度までは福祉施設機器調査委員会、ユニバーサル探求委員会、バリアフリー改修委員会、バリアフリー建築カレッジ委員会という4つの委員会で活動してまいりましたが、本年度より合同でよりパワーアップを図るため、事業部会として一つに

まとまり、勉強会、研修会、相談会を企画してまいります。さらに、バリアフリーについての悩みの相談窓口となり得る為、より多くの情報収集・調査を続けて、会員活動のサポート、交流に勤めていきたいと考えております。又、総会後は懇親会が開かれ、参加者の皆様の交流がより深まり、総会を終えることができました。当協会のホームページも充実してまいりました。年間の行事予定や勉強会等の報告内容も見ることが出来ます。又、福祉・医療関係団体等からの問い合わせや、施設検証、講演会の依頼等も増えつつあります。多くの皆様の御指導と御鞭撻、そして御参加を心よりお待ちしております。

今後当協会へのご理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。

戸井田 秀明

ユニバーサルデザイン建築カレッジに向けて

今年も1月12日から30日にかけて建築カレッジが開催されました。昨年までは「バリアフリー建築カレッジ」という名称でしたが、今年から「ユニバーサルデザイン建築カレッジ」と名称が変更されました。これは主催者である埼玉県と建築士事務所協会の発案で、より広い範囲を対象とした知識と技術を習得し、全ての人々に使いやすい建築の設計技能向上と普及を目指すことを目的として、カレッジの名称が変更されたものです。

バリアフリー協会としては、この名称変更については心穏やかならないものがありますが、目的を同じくするという意味において、今後も建築カレッジの発展に協力していくことはいうまでもありません。さて今年のカレッジは名称の変更だけでなく、開催日も従来の四日間から三日間に短縮されました。これは忙しい日常の合間を縫って参加してくださる人たちにとって、少しでも参加しやすくするためです。日数を短縮したからといって、決して内容が薄くなった

わけではありません。むしろ、講義、体験、実習とそれぞれの内容は、以前にまして充実したものとなっています。

このような建築カレッジの変化の中、当バリアフリー協会の役割も大きく変わってきています。従来は、建築カレッジにおいて、当協会は裏方としてその開催と運営に協力してきましたが、今年には体験学習や実習においては中心的な役割を担い、またいくつかの講義においても講師やパネラーとして重要な役割を担ってきました。その結果、今回の建築カレッジは参加者から大きな評価をいただくことができました。

今後も、ユニバーサルデザイン建築カレッジにとつて、バリアフリー協会の役割はますます大きなものとなっていくことでしょう。

賛助会員募集中

賛助会員の方の年会費は
一〇五〇円・二〇〇〇円以上で
お願いしています。

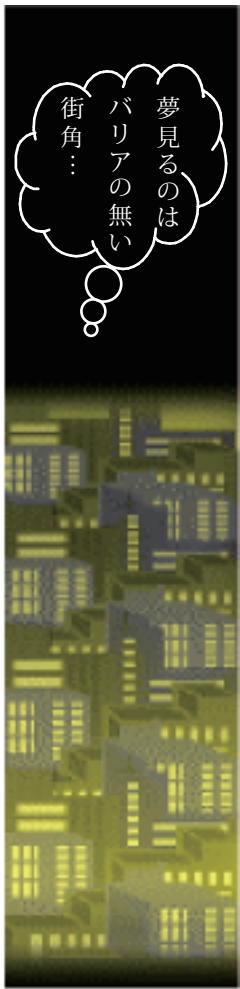


指定居宅介護支援事業者・指定訪問介護事業者・居宅福祉用具貸与指定店

介護のことなら

介護タクシー **ムサシ株式会社**

〒340-021 埼玉県北葛飾郡鷺宮町鷺宮 814
TEL 0480-58-9911
FAX 0480-58-9910



夢見るのは
バリアの無い
街角：

福祉施設機器調査委員会

寺田 修

高齢者と障害者の自立と介護を支援する福祉機器の総合展示会「第三十三回国際福祉機器展(HCR2006)」が、全国社会福祉協議会と財団法人福祉広報協会の主催により、平成18年9月27日から29日までの3日間、東京ビッグサイト東展示ホールで開催されました。

最新の福祉機器の情報を入手し、福祉機器の知識と理解を深めることを目的として、9月27日、この展示会の見学会を福祉施設機器調査委員会とユニバーサル探求委員会共同で開催しました。協会のホームページ等で参加者を募集した結果、当日は会員7名関係者1名計8名が参加しました。後日、会社関係者や



他所属団体の方と見学した会員もおりました。

この展示会には国内企業・団体554社、海外企業は16カ国78社が出展し、会場内には2万5千点を越える福祉機器や介護用品等が6つのゾーンに分かれ展示されていました。入場者は見学会当日で4万2千人、3日間で延べ13万人余、車椅子利用者も延べ三千数百人も入場され大盛況でした。他にも、国際シンポジウム、スキルアップ専門職講座、特別セミナー、特別講習、出展者ワークショップが開催され、子ども広場、福祉機器・リハビリ・住宅改修相談コーナー等も設置されていました。特に今回は、介護予防機器類の展示の多さが目を引いていたようでした。

見学会当日は、午前10時集合後、主に住宅改修に関わりがある建築・住宅設備や、トイレ・入浴用品、日常生活用品等の展示を中心に見学会を開始し、途中休憩や情報交換を交えながら充実した研修を行いました。また、自由行動後も、閉館時間まで熱心に研修を続けた方もいました。

今回の見学会では、福祉機器の最新の情報が入手できたこと、様々な機器、用具を実

際に見て聞いて触って試用し、比較検討することができたこと等、充実した内容であったと思います。限られた時間であるために、セミナー等に参加できなかった事等々の反省点もあります。

福祉機器の開発は、近年のIT技術の進歩等により、その種類も多種多様にわたっています。住宅改修に関わるものとしても、利用者に合った福祉機器の選び方のポイントや使用時の注意点、福祉機器や機能や効果的な使い方等についての最新の知識が必要となつてきております。また福祉機器を適切に選ぶためには、利用者の身体状況や住環境を踏まえて考慮する事ももちろんのこと、現物の試用と専門家のアドバイスも必要になります。次回は、平成19年10月3日から5日に開催されます。また見学会開催の企画をいたしますので、多数の皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

*福祉機器の選び方・使い方や最新情報については

<http://www.hcr.or.jp>で入手することができ、大変便利です。ご利用下さい。

『彩の国バリアフリー協会』への入会の勧め

当協会は、埼玉県と(社)埼玉県建築士事務所協会の共催による「彩の国バリアフリー建築カレッジ」の卒業生によって平成15年9月に結成されました。その後カレッジは平成18年度に「彩の国ユニバーサルデザイン建築カレッジ」と改称され、当協会も平成19年度からはカレッジの卒業生に限らず、広く会員を募集するようになりました。また、学校に在籍されている方を対象とした学生会員の募集も始めました。

『彩の国バリアフリー協会』の目的と活動は、加齢や疾病、事故などによりハンディキャップを負った人も、社会のメンバーの一員として共に暮らせる街づくりや、生活環境の準備に役立つ人材の育成を目指し、見学会・研修会・講演会の開催と、「彩の国ユニバーサルデザイン建築カレッジ」の企画・運営の協力を主な活動としています。

日本社会の高齢化問題を一つ考えても、それに対応する法制度は、急速に変化しています。このような社会情勢の変化に即応したシステムの構築や人材の育成が、私たちを取り巻く社会の急務となっています。

そこで当協会の活動に参加していただき、会員相互の交流、情報交換、情報収集、研究などを通じて、皆様方が各々で習得した知識をより一層実務や実践に役立てていただければと考える次第です。

ぜひ、この機会に当協会にご加入いただきますようお願い申し上げます。

年会費：正会員＝会の趣旨に賛同するもの	5,000円
学生会員＝会の趣旨に賛同する学生	3,000円

各委員会より

バリアフリー改修委員会

戸井田 秀明

当委員会の活動計画の一つにある、住宅改修事例の見学会を5月20日に行う事ができました。この度の事例は、川越市内に建つ二戸建ての住宅を改修して生活をされている身体状況が四肢麻痺という事で、両手両足を全く動かす事が出来ないSさんのお宅を見学させていただきました。奥様が元看護婦さんだったという事もあり、プラン改修には、御本人に加え奥様の介護する側の意見が多かったようです。毎回動きに苦労するトイレ・浴室・出入口の工夫が大変参考になる見学会でした。又、合同委員会の活動として、2月24日には、聖学院大学人間福祉学科の野口祐子先生によるリウマチの病状から住環境に至るまでの講演会も企画し、多くの方に参加していただきました。

上記のような大きな行事だけではなく、情報収集やインフォメーションへの参加など細かい活動も行っております。皆様の参加及びお問い合わせお待ちしております。又、上記の詳しい内容は問い合わせ

ただければ、どなたでも御覧いただけます。更に、本年度からは委員会活動の一つの合同活動として、事業部会という名称で活動してまいります。楽しい勉強会・研修会・見学会等を企画いたします。皆様、気楽に参加しましょう。宜しくお願い致します。

ユニバリ探求委員会

栗林 稔昌

私自身車椅子を愛用して12年が経ちます。我々車椅子使用者を始めとした障がい者及び機能低下した人達の多くは今までと同じ様に、家から外に出る事を望んでいません。しかし、いざ外出すると様々な障害を目の当たりにしてしまい、逆に外出に戸惑いを感じる結果となってしまう。そこで、ユニバリ探求委員会の18年度の活動は、埼玉県及び他団体と共同にて「町探検」を中心に行いました。

その探検で、障がい当事者・福祉従事者・行政担当者等様々な職種の参加者が各々の視線で、「街中の利用しやすい箇所・今後改善すれば利用しやすいであろう箇所」を探りました。最後に

活動予定表

事業部会(旧合同委員会)

・理事会開催日程

- H 19年11月10日(土)
- 12月15日(土)
- H 20年2月2日(土)

福祉機器展見学会の件

- 10月4日(木)
- 東京ビッグサイト

建築カレッジの日程(確定)

- 1日目…10月26日(金)
 - 2日目…11月7日(水)
 - 3日目…11月21日(水)
- (詳細はHPにて)

学習会(入間市)の講演の件

12月1日(土)入間市立宮寺公民館(予定)にて彩の国バリアフリー協会が講演をします。(詳細は後日)

編集後記

バリアフリーからユニバーサルへ建築カレッジも進化しています。

誰もが快適な社会を目指して一歩ずつでも・・・ですよ。

今年は酷暑で大変な夏でしたが、原稿依頼に快く応じてくださった皆様本当にありがとうございました。

お陰さまで、「EQだより」第4号の運びとなりました。(金森)

最近のニュースから

最近のニュースを題材にバリアフリーについて考えてみたいと思います。(最近といたって少し時間が経ってしまっていますが・・・)

2007年4月5日 毎日新聞から

〈女性専用車両〉利用できるのに・・・視覚障害の男性、困惑
女性専用車両は、JRや私鉄15社で朝夕のラッシュ時に運行中です。痴漢対策が主な目的ですが、交通弱者にも配慮して、障害者や女性に介護されている男性も乗車可能になりました。しかしまだまだその情報がいきわたっておらず、(なぜ男性なのに女性専用車両に乗ってくるのか)怪訝な目で見られたり、注意を受けたりする障害者がいると記事では伝えています。特に視覚障害の方は自分の乗る電車が女性専用車かどうか判断もつかず困惑しているとのこと。

当協会の女性会員の方、そういう場面に遭遇したらアドバイス等お願いします。

《パーティション・トイレブース工事》 《ハンガードア工事》

東京ハニウォール販売株式会社

埼玉県吉川市高富1-9-19

TEL 048-982-6670・FAX 048-982-7097

設立1973年

